

東京都病院協会 会報

東京都病院協会
LTD制度・医療共済制度
引受保険会社



東京海上日動

2024年(令和6年)11月25日

第331号

毎月1回 定価200円(会員購読料は会費に含む)

発行所：一般社団法人東京都病院協会／発行人：猪口正孝 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館404号室
TEL：03-5217-0896 / FAX：03-5217-0898 / URL：https://tha.or.jp / E-mail：thaoffice@tha.or.jp



高野 研一郎

会報7月号でお伝えしましたように、第19回東京都病院学会を2025年2月23日(日)、アルカディア市ヶ谷で「人口減少社会の病院運営くどう乗り越える? 医療界の人材不足」をテーマに開催します。鋭意準備を進めているなか、学会まで3カ月を切り、一層スピード感を持って取り組んでいます。企業展示の応募数は現在26社。目標の29社までもう一息ですが、準備はおおむね順調に進んでいると言つていいでしょう。

今回の学会テーマは病院の経営・運営に携わっている、私を含めた皆さんが日頃、切実に感じている課題だと思っています。今回、学会企画を「皆さんで知恵を寄せ合おう!いま東京の病院が直面する問題の解決に向けて」としました。これは、人材不足問題に限定せず、ご応募頂いた一般演題から運営委員会が発表演題を厳選し、そのテーマに関して参加者で議論を行うという企画です。まずは締め切り(10月25日)までに129演題の応募をお寄せいただき、安堵したところですが、これから発表演題を選りすぐり、本企画が充実した内容になるよう熟考して参ります。

学会長企画のもうひとつは、Basical Health株式会社代表取締役の佐藤文彦先生を講師に迎え、医師の働き方改革について語っていただきます。佐藤先生は糖尿病の最先端分野で診療・研究を行っている内科医です。医師の働き方改革は一般演題カテゴリーにも含まれていますが、医療現場を熟知している専門家として、多角的な視点から踏み込んだ意見をお聞きできればと思います。

都病協の各委員会・部会企画も例年同様に開催します。企画の詳細は別添の表をご確認ください。様々なテーマで講演、発表いただく予定です。

また学会の目玉のひとつ、学会長特別講演には人工知能(AI)分野の世界的第一人者である、京都橋大学工学部教授・情報学教育研究センター長

松原仁先生をお招きします。松原先生

インタビュー

第19回東京都病院学会

「あなたの困りごとは皆の困りごと
身近な問題を一緒に考えましょう」

第19回東京都病院学会学会長

高野 研一郎

安藤高夫 副会長

第50回衆議院

総選挙で2期目当選



安藤高夫氏 略歴

1959年	4月	東京都で生まれる
1984年	3月	日本大学医学部卒業
1989年	8月	医療法人社団永生会理事
1997年	4月	東京都慢性期医療協会会長
1999年	4月	八王子医師会理事
2003年	4月	全日本病院協会副会長、東京都病院協会副会長、東京都医師会理事
2006年	4月	日本慢性期医療協会副会長
2014年	12月	医療法人社団明生会理事
2015年	6月	東京都医師会理事
2017年	10月	第48回衆議院議員選挙に初当選
2024年	10月	第50回衆議院議員選挙に2期目当選
2024年	11月	第二次石破内閣にて厚生労働大臣政務官に就任

第50回衆議院議員総選挙は10月27日に投票が行われ、東京都病院協会副会長を務める安藤高夫・医療法人社団永生会永生病院理事長が当選しました。立候補した東京28区での得票数は5万2900票。当選した議員との差は336票、惜敗率99.3%という結果でしたが、比例区で復活当選を果たされました。

安藤副会長は当選後、次のように述べられました。「練馬

区、区議会の先生方をはじめ、皆さんの皆様にお力添えをいただき、議席を得て国会で発言するチャンスを得たことができました。今後、国政の場で医療現場、医療経営に携わる皆さまが少しでも幸せになるよう、力を尽くします。ぜひ、現場の声をお寄せいただきたいと思います」

11月13日には厚生労働大臣政務官に就任されています。

学会講演・企画

	企画	テーマ(予定)	演者等
1	基調講演	しばらくは 離れて暮らす コとロとナ つぎ逢ふ時は君といふ字に ―ヒューマンタッチ―	東京都病院協会名誉会長 河北 博文
2	協会長講演	地域医療構想をはじめとした、 最近の課題に対する都病協の対応	東京都病院協会会長 猪口 正孝
3	学会長特別講演	進歩したAIは人間と社会をどう変えるか	京都橋大学工学部教授、 情報学教育研究センター長 松原 仁
4	学会長講演	どう乗り越える？ 医療界の人材不足	学会長 高野 研一郎
5	学会長企画Ⅰ	皆んなで知恵を寄せ合おう ―いま東京の病院が直面する問題の解決に向けて―	学会運営委員選考による 一般演題を中心に発表
6	学会長企画Ⅱ	動き始めた医師の働き方改革	Basical Health株式会社 代表取締役 佐藤 文彦

委員会・部会企画

	企画	テーマ(予定)
1	急性期 医療委員会	急性期医療機関の医療人材確保
2	慢性期 医療委員会	外国人採用／受け入れにあたっての医療法人(病院)の心構え・体制
3	環境問題 検討委員会	海洋と異常気象について
4	事務管理 部会	パシエントハラスメントについて
5	看護管理 部会	わたしたちのウェルビーイング
6	回復期 医療委員会	地域包括医療病棟について(学会長企画Ⅰで発表予定)

は幼少期に見たアニメ『鉄腕アトム』をきっかけに、AI研究の道に進まれた方です。今回、学会長特別講演を松原教授に依頼することに決めたのは、先生の著書『AIに心は宿るのか』と『文系のためのめっちゃやさしい人工

知能』を拝読したことがきっかけでした。今や日常の一部になったものの、実態を理解している訳ではないAIにつき、興味深く、かつ分かりやすく書かれた本で引き込まれました。医療に関わる記述もどちらの著書にも載って

いたことは言うまでもありません。先日、その松原教授をお招きし懇談する機会がありました。他に本学会で学会長企画の講演をお願いしている佐藤先生、土谷明男副学会長と大坪由里子運営委員長にもご同席いた

だいたのですが、初めてお目にかかったにもかかわらず、大変フレンドリーな人柄でお話の内容も面白く、非常に盛り上がりました。当日の講演でどのような話が飛び出すのか、大いに期待しています。

とが義務づけられました。こうした改定に戸惑っているのは当院だけではないと思います。このようなことも含めて、皆で話し合える場にできればと考えています。

さて前回もお話ししたように、私はこれまでライフワークとして熱心に取り組んできたテーマは特別持ち合わせない、ごく平凡な一臨床医です。ですから、テーマ選定には大変苦勞しました。悩んだ末、自分自身が普段感じていること、困っていることをテーマにしたというわけです。

これからの日本の人口構成を考えれば、人材不足は医療界だけでなく、あらゆる業界に共通する課題です。それにどう対処すべきか、多くの人が漠然とした不安を抱いており、病院経営者も同じ気持ちだろうと思いました。もちろん、処方箋がすぐに見つかるというわけではなく、正解はないのかも知れません。しかし、大勢の方が議論し知恵を出し合うことによって解決の糸口、ヒントが見つかるのではないでしょう

か。

今回、一般演題を募集する際、「日頃感じていること、困っていることを学会にどんな提案してください」と呼びかけました。それは人材不足の問題だけではなく、たとえば、2024年度診療報酬改定では、すべての病棟について身体拘束最小化チームを設け、身体拘束等の最小化に取り組むことになりました。緊急やむを得ない場合以外の身体拘束を禁止し、違反した場合は入院点数が減算されます。また、入院料の通則において「患者の意思決定支援を行う指針を定める」こ

とが義務づけられました。こうした改定に戸惑っているのは当院だけではないと思います。このようなことも含めて、皆で話し合える場にできればと考えています。

学会と聞くと、アカデミックな舞台で意見交換するようなイメージが強く、どうしても身構えてしまいがちですが、肩の力を抜いて積極的に発言していただきたいと思っています。皆さん一人ひとりとって身近な問題を解決する場だと思って参加していただきたいのです。

あなたが困っていることは、皆が困っていることです。困っている同じ仲間として、ぜひ議論、討論の輪に加わっていただきますようお願いしつつ、多くの皆様の学会への参加をお待ち申し上げます。

第19回東京都病院学会

開催まであと91日!

- 主 題：人口減少社会の病院運営
～どう乗り越える？医療界の人材不足～
- 学会長：高野研一郎（高野病院 理事長）
■副学会長：土谷明男（葛西中央病院 理事長）
■学会運営委員長：大坪由里子（三軒茶屋病院 院長）
■開催日：2025年2月23日（日）
■会 場：アルカディア市ヶ谷（JR市ヶ谷駅徒歩2分）

学会特設
ウェブサイト



特別企画

介護保険施設入所者急変時の
入院対応における病院の役割

2024年度介護報酬改定では、介護保険施設に求められる協力医療機関の確保に関する要件が厳格化されている。大きな関心を呼んでいるのが「入院を要する入所者の入院を原則受け入れる体制の確保」だ。本企画では、病院、介護保険施設それぞれの視点で、現状や課題について語っていただいた。

病院の視点

高齢者施設の事情に
配慮した体制を構築東京都病院協会副会長
内藤病院理事長

内藤 誠二

地域で求められる
病院の役割は変わる

内藤病院は前身を含めると1930年から東京都渋谷区初台で医療を提供してきましたが、地域で求められる役割は時代によって変化します。以前は全53床が急性期病床で全身麻酔の手術も月2〜3件はありました。現在は急



内藤 誠二

患者地域サポートセンターで
対応窓口を一元化する

施設の入所者さんの状態が急変した場合、医師の診断次第で入院してもらうこととなりますが、施設から付き添いで来院してきた施設スタッフさんへの対応が課題でした。一言で言えば、病院の都合で長時間、足止めしていたのです。午後の早い時間帯に外来

に来ていたスタッフさんが、夕方になってもまだ病院にいたこともありました。

驚いて事情を聞くと、まず外来の看護師が病歴や生活の様子などを聞いて検査などをし、医師が診察して入院と判断すると、今度は病棟看護師が同じことを聞くといったことをしていたのです。この間、介護施設は人手をとられているわけです。

そこで当院では今年4月に「患者・地域サポートセンター」を開設、看護師2人、MSW1人を配置し、対応窓口を一元化しました。患者さんの情報もここで集約するので、スタッフさんを足止めすることも減りました。この体制を契約している施設に説明したところ、とても喜んでいただき、相手側目線のサービスを提供する一歩となりました。

退院時の情報共有にも力を入れています。患者さんのADLは確実に低下しています。入院前は自力で常食を摂れていたとしても、退院後は介助が必要といったことが珍しくありません。そういったことをケアの際に留意していただくよう、情報提供しています。

2024年度介護報酬改定で、介護保険施設が契約する協力医療機関についての要件が厳しくなりましたが、施設側と話をしていると温度差がある気がします。以前より当院と契約している施設はそもそも連携体制が構築されているので、それほど危機意識は抱いていないようです。むしろ、当院とは契約していない施設からの相談が寄せられるようになっていきます。裏を返せば、このこと

が地域における当院の役割を物語っているようにも思います。

介護施設の視点

病院団体の
リーダーシップに期待

湖山医療福祉グループ代表

湖山 泰成氏

協力医療機関との連携強化で
広がる介護施設の「困惑」

2024年度介護報酬改定で、介護保険施設等は協力医療機関等との連携の強化を求められています。具体的には①入所者の病状が急変した場合等に相談対応を行う体制を常時確保、②診療の求めがあった場合の診療を行う体制を常時確保、③入院を要する入所者の入院を原則受け入れる体制の確保の3つです。介護保険施設は開設にあたっては協力医療機関と契約することが義務づけられていますが、その内容についての担保も求められたわけです。

介護保険施設の本音は、「困惑している」です。大きく特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院がありますが、後者2つは医療法人による開設が大半ということを踏まえれば、それほど問題にはならないでしょうが、基本的に社会福祉法人のみ開設が認められる特養は法人内に医療機関がない場合もありますから、簡単にはいきません。

そもそも協力医療機関の確保がなければ開設自体できないわけですから、

東京きらぼしフィナンシャルグループ
きらぼし銀行

東京の地域医療を支える

病院を応援します。

医療・福祉事業部 〒107-0062 東京都港区南青山3-10-43 TEL.03-6447-5770 URL.<http://www.kiraboshibank.co.jp>

photo: © mapo - stock.adobe.com

定期コラム

サイバーセキュリティ対策最新報告

第9回「フィッシング詐欺について」

フィッシングの報告件数は年々増加しており、令和5年における国内の報告件数は、119万6,390件（前年比23.5%増加）と過去最高でした。また、本年7月の月別報告件数は17万7,855件となり、単月で過去最高を更新し、注意を要する状況となっています。

1 フィッシングとは

フィッシングは、銀行等の実在する企業を装ってメールを送り、偽サイトにアクセスさせて、住所、氏名、電話番号、クレジットカード番号、銀行口座番号、ID・パスワードなどの個人情報等を不正に入手する行為をいいます。サイバー犯罪者は、不正に入手した個人情報等を悪用し、他人になりすまして買物をしたり、インターネットバンキングからお金を引き出したりするなどして、金銭等を盗みます。

2 フィッシングの手口

フィッシングの手口として、SMS（ショートメッセージサービス）またはメールを利用した手口があります。

SMSでは、宅配業者等を装って「外出中のた

め、お荷物を保管しています。こちらで詳細をご確認下さい」というようなメッセージを送り、本文のURLから偽サイトへ誘導して、個人情報等を盗みます。このSMSを使用した手口は、「スミッシング」とも呼ばれています。

メールでは、正規の企業や公的機関、金融機関等を装ったメールを送り、メール本文に記載したURLから偽サイトへ誘導し、個人情報等を盗みます。

最近では、メール本文にQRコードを貼り付けて、そのQRコードを読み込ませることで偽サイトへ誘導する手口も発生しています。

特に被害に遭いやすいのは、以下のような場合です。注意しましょう。

- ・思い込んでいる時：通販サイトで商品を購入して、宅配業者からの連絡が来る場合
- ・急いでいる時：休暇明けなど業務で大量のメールを処理する場合
- ・疲れている時：疲労が蓄積して、あまり考えずにメールを処理する場合

3 被害防止対策

被害に遭わないために、SMS等の本文のURLが

ら直接ホームページへアクセスするのを止めて、正規のサイトからアクセスするようにしましょう。日頃から利用しているサービスへログインする際は、事前に公式サイトをお気に入り（ブックマーク）登録したり、また、公式アプリをインストールしてアクセスしましょう。

注意点は以下になります。

- ・SMS等に記載されたURL等をクリックして偽サイトに移動しない。
- ・送信元のSMS発信者番号やメールアドレスが正規のものか確認する。
- ・多要素認証が導入されていれば、積極的に使用する。

もし、偽サイトに個人情報等を入力した場合は、クレジットカード会社や銀行にカードの停止等の連絡をしましょう。また、複数のサイトで同じID・パスワードを使用している場合は、他のサイトのID・パスワードを変更しましょう。そして、警察に被害の相談や情報提供をしましょう。

フィッシングは年々巧妙になっていますので、日頃からの注意を心掛けましょう。



湖山 泰成 氏

私たちのグループは全国で施設を運営していますが、地域によつては受け入れ、入院期間は病院の病床稼働率次第というケースもあります。つまり医療提供のあり方について、施設側がコントロールできることはほとんどないのが実情なのです。グループでは銀座医院からオンラインを用いたセカンド

加えて、協力医療機関と無事契約を結んだからといって必ず患者を受け入れていただけるとは限りません。入所者様が急に具合が悪くなったから病院に送りたいとして、まず協力医療機関に相談しますが、いつでも往診に来てくれたり、入院させてくれたりすればいいのですが、医療機関側も医師がいなくて空床がないといった都合もあるでしょう。

施設側が医療提供のあり方をコントロールできる余地はない

施設側はお願いに回ることになります。東京都はともかく、地方に行くとそもそも選択できるほど協力医療機関はありませんし、自治体の意向もあつて地元医療機関が優先されやすいのが実情です。たとえば湖山医療福祉グループでは銀座医院のように医療機関がありますが、グループ内施設の協力医療機関になることはできません。

オビニオンを実施できる体制を構築し、提供される医療内容について確認できるようになっていますし、いざとなれば他の協力医療機関を探すといったこともありますが、特養でこれを実施するのは難しいでしょう。

そもそも特別養護老人ホーム内での医療提供は大きく制限されており、他の高齢者施設のように在宅医療を受け入れることもできません。これは歴史的な背景があり、かつて入所している生活保護者に対して制度的な盲点をついて医療を青天井に提供し、不正請求を行っていた医療機関が存在したことから、その反省もあつて歯止めをかけています。しかし現在は大きく状況は改善されています。地方では「周囲の目」があつてあまりおかしいことはできませんし、東京都にはそうした悪徳医療機関がいるという報告も受けていません。

加えて、ご家族も施設に入所させたら安心してしまい、入所者様が入院しても「施設任せ」というケースが少なくありません。

協力医療機関は選べず、今回の①②③は相手の医療機関次第にもかかわらず、その担保を負わされているのです。

特養の医療提供のあり方を見直して在宅医療が介入する余地を設けるべきだと言うのが私の考えですが、それがすぐには難しいなら、せめてこうした質の担保は契約した協力医療機関側にも求めたいのです。特に入院については病院の役割は大きくなります。東京都病院協会のリーダーシップに大いに期待したいと思っています。

ほんとうの課題は、
人が少ないことではなく
仕事が多いことでした。

人手をふやすのは、簡単ではありません。
けれどエネルギー設備を最適化すれば、
作業をへらすことはできる。
課題を解決するために、課題から考えつづける。
あなたの悩みも、どうか聞かせてもらえませんか。



東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 都市エネルギー営業本部 公益営業部 Tel:03-6452-8413

